

地域学校 協働 本部 だより

鯉の池がきれいになりました！

地域学校協働本部が2年目を迎えました。令和4年度の最初の活動として、4月23日(土)に鯉池の清掃と周囲の草取りを行いました。当日は天候にも恵まれ、飛小の子どもたち9名とその保護者や地域の方12名にご参加いただき、2時間半で無事に清掃活動を終えることができました。

今回の清掃は、鯉が飛小にきた2020年10月29日から初めて行うということもあり、観賞魚の保護などのボランティア活動を行っている「おさかなポスト」さんから山崎さん、磯邊さんをお招きして、鯉の扱い方などを教えていただきながら行いました。池の水を抜くために一旦鯉を退避させるのですが、鯉を傷つけないようタモ網ではなく

素手で鯉を捕まえる方法や、新しい水を入れる際のカルキ抜きの方法などを教えていただきました。

1年半放置していた池の汚れは想像以上で、ブラシだけではなかなか取り除くことができない状態でしたが、保護者の方が持参してくださった高圧洗浄機により、かなりきれいにすることができました。池の周囲の草取りを含め、今回の清掃活動にご参加いただきました皆さまには感謝申し上げます。今後は今回のように長期間放置せず、定期的に池の清掃を行いますので、今後ともご協力の程をお願いいたします。



裏面に続く

授業中に子供たちが生き生きとした表情を見せるのは、話を聞いているときではなく、活動をしているときであり、本物に触れるときです！例えば、理科でいうと、事象の説明を聞くときよりも、実験をしているときの方が子供たちは夢中になって取り組みます。また、プロの選手がスポーツを教えてくれるときも子供たちは目を輝かせながら取り組みます。

私たち教員は、少しでも子供たちが意欲的に取り組めるように活動を多く取り入れ、少しでもプロに近付けるように教材を研究し、練習にも取り組みます。しかし、残念ながら、子供を見守る人手が足りないために活動を断念することや、プロ並みの知識や技能を習得しようと練習すれども現実に打ちのめされることばかりです。しかし、地域学校協働本部の会議でコーディネーターの方々と話をすると、いつも大きな希望を抱きます。地域学校協働本部は、地域と学校とが一体となって子供たちを育む「コミュニティスクール」を目指して発足したものです。飛田給小の子供たちへの教育がより一層充実したものになるために、その鍵となるものはズバリ地域の人材の活用です！例えば習字の授業で、有段の方がクラスに何人か入ってコツを教えてくださいました。...。例えば生活科の昔遊びの授業でけん玉が上手な方が技を教えてくださいました。...。例えばクラブ活動で昔に培った技能を教えてくださいました。...、授業が大きく変わるのではないかと期待をしてしまいます。

地域学校協働本部の活動は始まったばかりですが、大きな理想をもって、少しずつ活動を広げていきたいと考えています。活動のカギとなるのは地域の皆様です。活動に賛同し、協力をしていただける方々を募集しています！ぜひ、子供たちのために一緒にしましょう♪

引き続き

学校支援ボランティア
地域コーディネーター

募集中！

あなたが支える子どもの未来。

ゲストティーチャー

クラブ活動のサポートや昆虫、植物などの採集など。

地域の見守り

登下校時の危険な交差点や横断歩道での見守りなど。

今年度より、調布市スポーツ推進委員の加藤輝行さんが、新たに地域コーディネーターとして参画されました。
今後ともよろしくお願いいたします。

運動会前日のテント設営 お手伝い募集！！

日程：2022年 5月 20日（金）

時間：13:30 ～ ※児童正面玄関奥の校庭側出入口前に集合

内容：昨今の気温上昇に伴い、児童の日除け用にテントを購入しましたが、設営の人手が足りないため、ご協力いただける方を若干名程度募集いたします。

持ち物：軍手、飲み物など。

その他：小雨決行

開催まで日にちが無いので、事前の申し込みは行いません。
ご協力いただける方は、集合場所にお越しください。